

道

2023・1・25
通信 No 1717



ボケ

《本日の練習(水) 6時～8時半》

小坂先生 二宮先生
3部 楽譜全曲持参

《2月1日(水) 6時～8時半》

清水先生 小坂先生
1部 楽譜全曲持参

吉野町プラザホール

《1月運営委員会報告 N02》

【集合写真申込状況】 男性写真 27枚 女性写真 28枚 データー申込 5人 出来上がりましたら各パート運営委員から配布していただきます。現金と引換えに受け取ってください。

【チケット・チラシ検討委員会】

チラシ3000枚 チケット1100枚発注しました。早坂さん・加藤(ま)さん宅に届きますので対応下さい

変更点 ①チケットの裏に予め、名前・連絡先電話番号を記入していただきます。

②チラシの中に、「お客様からのプレゼント」については強くお断りする表現が入っています。

県立音楽堂より「コロナ対策の一環」としてお断りするよう指示されています。

【参加者アンケート関係】

ゲネプロ・本番・打ち上げ参加希望を取ります。打ち上げについては感染に注意しながら実施いたします。担当パートはB2です。ご協力よろしくお願ひします。

【企画選曲委員会・運営委員会で55周年に向けてのアンケートの感想を出し合いましたので報告します。】

①アンケート提出の方の意見は「ロシア民謡」を歌いたいという気持ちが大いと思われる

- ・選曲はどうするか ・団の基本方針に従ってやっていきたい ・道の伝統を守りたい ・戦争を賛美するような歌でなく美しい歌を希望 ・重く暗い世の中なので明るい曲を歌いたい
- ・ロシア民謡を唄うことに対して相反する意見がある。反対意見を持つ人とどうすればよいか。悩んでしまう。歌いたいという人の心にも寄り添ってほしい
- ・清水先生にはロシア民謡を指揮してほしい。「マロースカ」を脚本して指揮してほしい

②55周年は節目の年。節目の年は「ゲストなし」で実施してきたが、特にそれに拘らないで進めたい。2時間以上の舞台に立ち続けることはきつい。団員の負担軽減にもゲストもよいのではないかと。ゲストは「岸本力」さんの「歌とトーク」を希望したい。ロシア民謡を唄ってきた岸本氏は今回のロシア侵攻に伴い「ロシア民謡とどう向き合うか」と悩んできた方。団の悩みを共有できる。ゲストに中学生等とのコラボレーションはどうか

③・動きのあるステージが良いのではないかと。2部清水先生に歌ってもらうのはどうか ・ゲストを招聘すると出演料が厳しいのではないかと。内々で考えた方がよいのではないかと。会場のお客様と一緒に歌いたい(演奏会場で歌うことは現在の所は県立音楽堂は厳禁となっています) ・方向性が不明確の中で、まだまだ話し合いを重ねていく必要があると思う。等の意見が出されました。

以上

《会議のお知らせ》

2月1日(水) 2時30分～ 運営委員会 県民サポートセンター

2月8日(水) 3時00分～ 企画選曲委員会 県民サポートセンター